



松戸保健所感染症情報



2019年11月

(2019年11月15日配信)

ノロウイルス等による感染性胃腸炎にご注意!

【発生状況】 2019年第45週の千葉県全体の定点あたりの感染性胃腸炎報告数は44週の2.49から2.73と増加しました。特に報告が多い保健所は、山武(5.17)、船橋市(3.91)、柏市(3.78)、**松戸も(3.63)と多い状況**です。

【感染経路】 病原体が、手指や食品等を介して経口感染します。ノロウイルスは乾燥すると空気感染することもあります。

【症状】 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度な発熱等です。乳幼児や高齢者は重症化することがあり注意が必要です。

【予防方法】 食事の前、トイレ使用后、下痢や嘔吐等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後は、必ず石鹸と流水による手洗いを徹底しましょう。吐物や便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、処理後はウイルスが屋外に出て行くよう空気の流れに注意しながら十分に換気を行うことが重要です。高齢者施設・保育施設・障害者福祉施設・学校等においては、感染症が持ち込まれないよう対策を図り、利用者や職員の健康観察を行い、発症者の早期発見に努めてください。また、感染症対策マニュアルを確認し、オムツ交換や嘔吐時の対応について、職員全員に周知し対応できるように備えてください。

【消毒液の作り方】 ☆市販の塩素系消毒薬の原液濃度は約5%ですが、異なる場合もあるので、濃度を確認して使用してください

消毒対象	必要な濃度	原液の濃度	希釈倍率	1ℓの水に加える消毒液(原液)の量
便や吐物が付着した床やオムツ等	1000ppm(0.1%)	5%	50倍	20ml
トイレの便座やドアノブ、床、衣服、リネン類等	200ppm(0.02%)	5%	250倍	4ml

◇ 「ノロウイルスに関するQ&A」(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

◇ ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎にご注意! (千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/gast/index.html>

インフルエンザへの備えをしていきましょう!

【発生状況】 千葉県の2019年第45週の千葉県全体の定点当たり報告数は、44週の0.94から増加し0.97でした。保健所別では、長生(1.86)、**松戸(1.76)**、船橋市(1.76)で多い状況です。**松戸は(1.76)で県全体より高い状況**です。

【症状】 インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。乳幼児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力が低下している方は肺炎を伴う等、重症になることがあります。

【感染経路】 主な感染経路はくしゃみ、咳等から発生する飛沫による感染(飛沫感染)。他に飛沫の付着物から手指を介した接触感染。

【予防方法】 ①流行前のワクチン接種、②咳エチケット、③こまめな手洗いとうがい(特に外出後)、④適度な湿度の保持、⑤十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、⑥繁華街への外出を避ける

【インフルエンザ症状が出たら】

早めに医療機関を受診し、人との接触は避けましょう。

休養・睡眠・水分を十分にとりましょう。

咳やくしゃみ等の症状のある時は、不織布製マスクを着用しましょう。

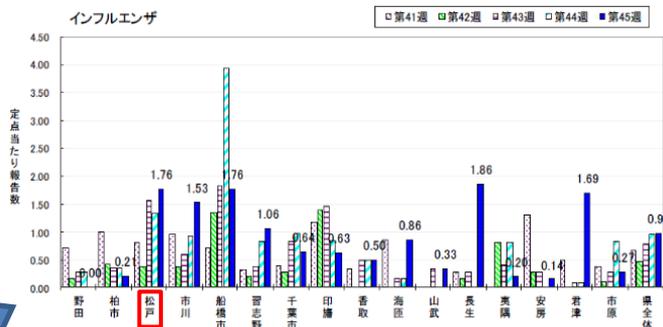
◇ インフルエンザQ&A(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

◇ 千葉県感染症情報センター <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

◇ インフルエンザに関する報道発表資料(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou01/houdou.html

参考: 千葉県感染症情報センター インフルエンザ第45週



12月1日は「世界エイズデー」～千葉県は報告数全国5位～

2018年までの累計数(確定値)では、全国では30,724人(うちAIDS患者9,460人)で、千葉県は1,441人(うちAIDS患者573人)となっており、東京都・大阪府・神奈川県・愛知県に次いで第5位に位置しています。

表 平成30年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数の状況

内訳	千葉県(人)	全国(人)	状況
HIV感染者	36	921	20～30歳代が多い
AIDS患者	15	367	30～40歳代が多い

●休日検査

令和元年11月24日(日)市川健康福祉センターで、
令和2年1月19日(日)には**松戸健康福祉センター**で実施します。

◇休日街頭HIV検査について(千葉県)

https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuu_jitu.html

◇HIV検査相談マップ <https://www.hivkensa.com/>

◇世界エイズデー(APIネット) <https://api-net.ifap.or.jp/event/hivinsfweek/special2019/index.jp>

◇エイズ・性感染症関係情報(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/index.html>



災害時における避難所での感染症対策

先月は台風15号、19号、10月25日の大雨等があり、千葉県だけでなく多くのところで被害が出ております。特に避難所では、共同生活の上、手指衛生が十分でず、集団での感染症リスクも高まるので平常時からの備えをしておきましょう。

◇災害時における避難所での感染症対策(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00346.html

◇感染症の予防について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000012515/0001.html>

千葉県感染症情報 ～手足口病～

千葉県の手足口病について定点当たりの報告数は第45週(11月4日～10日)が2.05と、前週の1.81を上回っています。松戸保健所管内も3.3と県平均より高く、未だ流行に注意が必要です。症状は口腔粘膜や手掌に水泡性発疹が見られます。拡大防止には手洗いが重要で特に排便後の手洗いが重要です。

◇手足口病 Q&A(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

◇千葉県感染症情報センター <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

感染症発生状況(10月分)・・・管内医療機関 発生届全数

2類感染症	結核 9件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3件
4類感染症	E型肝炎 1件
5類感染症	アメーバ赤痢1件、急性脳炎2件、梅毒3件、百日咳1件

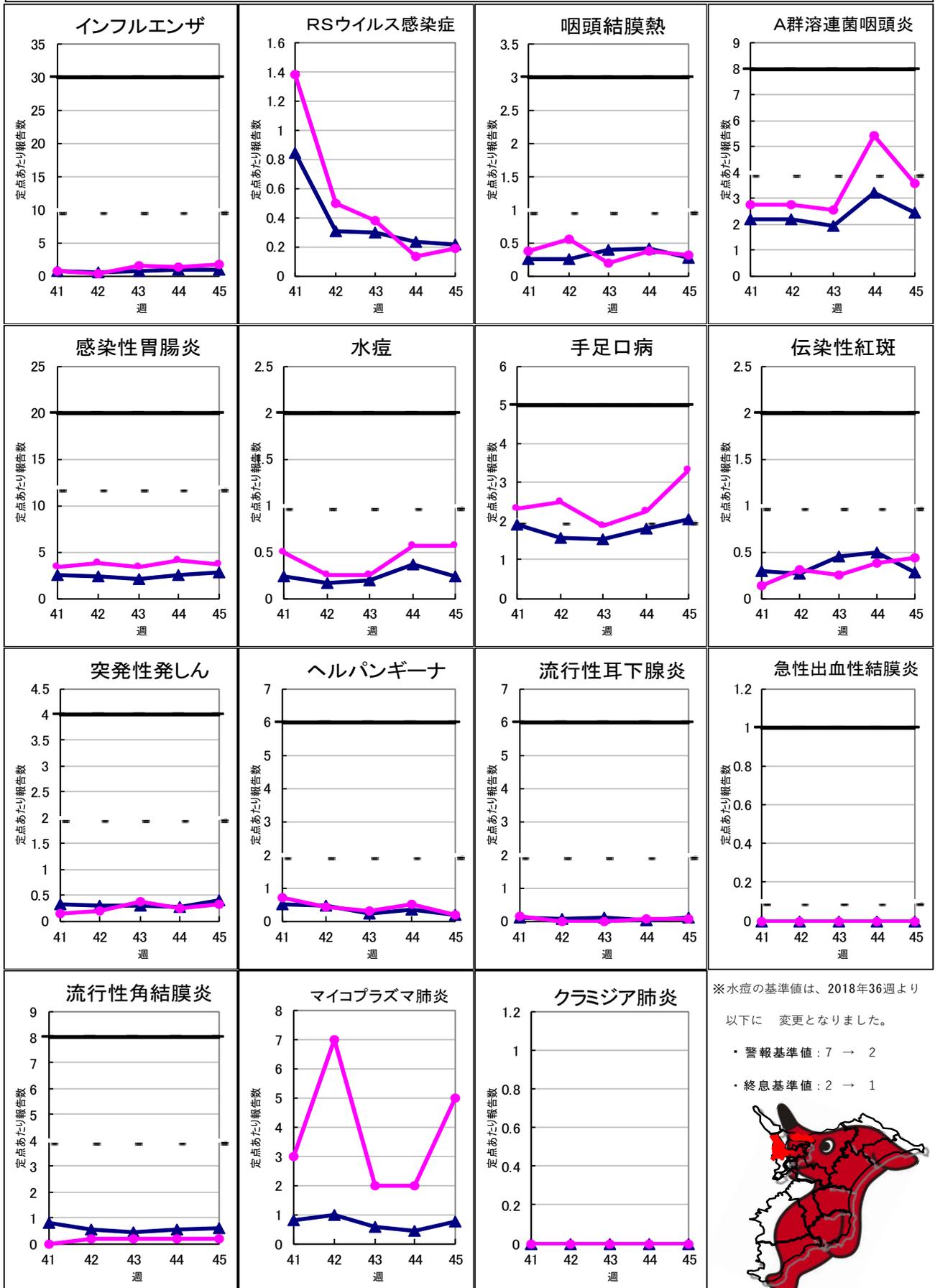
松戸保健所管内の結核新規登録者数(10月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性・その他		
松戸市	1	2	1	2
流山市	0	0	0	2
我孫子市	1	0	0	0
計	2	2	1	4

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県・性別(総数)

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。



※水痘の基準値は、2018年36週より

以下に 変更となりました。

・ 警報基準値 : 7 → 2

・ 終息基準値 : 2 → 1

